

光と影の物語



CFNJ 聖書学院 演劇コース台本

キャスト・登場人物

歌う伝道者 伊藤 雄基

光と影 鍛冶川 紀子

影のある男 北坂 信頼

女 仲井 恵

スタッフ

脚本・演出 鍛冶川 紀子

挿入歌作曲・(BGM 作成) . . 伊藤 雄基

照明 秋山 耕平

BGM 岩村 一義

スポット

プロジェクター 濱田めぐみ

ビデオ(録画) 伊藤 雄基

・・・プロローグ・・・

プロジェクター、光と影の物語 BGM1

伝道者にスポット

伝:はじめに神が天と地を創造された。地は形がなく何もなかった。

闇が大いなる水の上にあり、神の霊は水の上を動いていた。

そのとき、神が「光よ。あれ。」と仰せられた。すると光ができた。

神はその光をよしと見られた。そして神はこの光とやみとを区別された。

又、天にはたえず、激しい戦いがあった。天使ルシファーが高慢のゆえに天から地に落とされ、大勢の悪霊どもと共に、地上に住む人々を迷わせ、苦しめていたからである。

神は光であった。だが、人々が光のもとに来ることを阻んでいる暗闇の力が、影のように地上を支配していた。

光と影 登場 光影にスポット

光と影:「みなさんこんにちは!

さて、私は一体誰でしょう?みなさんの目に映る私は何者でしょう?

その答えは光と影なんです。えっ?光と影は共存できないって?

あ〜、良いところに気が付きましたねえ。そうなんです。私は影であり光。

だから私はこの世のものではない。

実は私はあなたであり、あなたは私なのです。人間って、複雑そうに見えて実はとっても単純。光か影、隠か陽、生か死、愛か憎しみ、人間ってどちらかに寄り添って生きていくもの。そうじゃありませんか?

さて、今のあなたはどちらにいます? 光ですか、それとも影?」

・・・暗転・・・

第1場 伝道者にスポット

伝: 歌「主は、私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。主は、私のいのちのとりで。

だれを私はこわがろう。いのちの泉はあなたにあり、私たちは、あなたの光のうちに光を見るからです。

主よ。あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。みことばの戸が開くと、光が差し込み、わきまえのない者に悟りを与えます。

おお主よ。私たちにはあなたの光が必要です。

多くの者が今も暗闇の中を歩いているからです。

闇の力を砕き、あなたの愛する息子、娘を光の中に導いてください。」

・・・暗転・・・

第2場 路上

下手女にスポット BGM 明るい音

女: 「私はひかり。その名のとおり、暗いところは少しもないわ!! 陽気な性格だし、生き生きしてるってよく言われる。でも、心底、明るいのか? って、聞かれると、そうでもない自分がある。一人ぼっちのときは、分けもなく悲しくなって泣いちゃうことも・・・私にはまだ、本当の愛がわからない。自分の中に、愛があるかって聞かれると、自信がない。きれいな人? そりゃいるわよ。一人、二人、三・・・たくさんいる。あっ、やばい! じゃあ、もしかして私は影? 私の人生は闇の中? 目に見える私の存在は一体何? これが私じゃないとしたら、本当の私はどこに・・・?」

・・・女、一点を見つめて、ストップモーション・・・

光と影「うっふっふ、生まれた時から光の中にいたこの娘にとって、私は影のように寄り添う存在、彼女が気づいていてもいなくても、私はいつも彼女と共にいた。彼女の後を追いかけてきた。時には光の天使、時には影の天使としてね。彼女は素直だから、どちらの語りかけにもすぐに応答してくる。つまり比較的操りやすい人間ってこと。そして今日彼女はついに、影の声に引きずられて家を出て来たんだ。私の存在にも気づかずにね。うっふふふふ。」

・・・ 上手男にスポット ・・・

男：「影のある男！俺はそう言われて来た。そう言われることは結構気に入っている。

明るすぎる場所は苦手だ。ボロが見える！

光に照らされれば、誰だってやばい！だからいつもサングラスをかけている。

どう、似合う？この世の汚れも、人の醜さも、そこそこフィルターがかかってぼやけて見える。一番うれしいのは、このメガネひとつで、本当の自分を見抜かれないですむこと！・・・と思っているのだが・・・どう？

俺って、どう見える？いい男？ いやあ、ありがとう。えっ、怪しい男？

それを言うなら、影のある男って言ってよ。うん。結構気に入ってるんだ。

え、俺の名前？ちょ、一寸待って、そこまで！ そこまでにしてくれないか。

これ以上踏み込んで来られるのは、はっきり言って嫌なんだ。」

光影：「アッハッハッ、この男は、私の仲間、人生の暗闇をずっと歩いてきた男。

カッコつけてるけど、それは外側だけ、本当は寂しがりや。いつも何かを、誰かを求めている。だけど臆病なんだ。自分の中に誰かが踏み込んでくるのは許せないタイプ。だから、私がここまで連れてきた。彼女と出会わせるためにね。彼女は、何の屈託もない明るい女！かと思えば、実はそうでもない。心に闇を抱えている。

一方、彼の方は、影のあるニヒルな男かと思えば、そうでもない。

実際はだれにも理解してもらえない、深い孤独と渴きを抱えた男。

闇の中に居ながら、光に対する強いあこがれを持ち、求めている。

こんな二人の出会いを導いたのは、他でもない影の主演であるこの私。

だが、出会った二人が、これからどうなるかは、私にもわからない。

だってそれは、彼らの選び取りにかかっているから。

では、皆さんとご一緒に、これからの二人がどこへ行くのかを、見ていきましょうか。うふっ、面白くなりそうだ」

・・・暗転・・・

第3場 2場と同じ、路上での出会い

BGM6 少し明るく軽快に（ゴスペル調）

・・・照明全体明るく・・・

・・・下手から女が鼻歌を歌いながら軽快に歩いてくる。・・・

・・・上手から男がうつむきかげんに歩いてきて中央で鉢合わせ・・・

女： 「ちょ、ちょっと！どいてよ。どいてってば！！」

男： 「君こそ、ど、どいて下さい。」

女： 「ふんっ、変な人！」

男： 「へ、変な人って、それはないでしょ。

せめて、影のある男っていつてくれないかな。」

女： 「ぷっ（と吹き出す）影のある男っていうより、影の薄い男！

どうでもいいけど、そこどいて。」

男： 「どきません！どけるもんか！俺だって！俺にだって、プライドはある。」

女： 「ぷっ（笑）プライド？やめてよ、そんな安い言い方。」

男： 「プライドって、高いとか安いとかってもんじゃないだろ？」

女： 「あんたプライド高い、なんて言うじゃん？」

男： 「じゃん、って。・・・ま、いいか。どうせ俺は闇の中に住む影のような男。

ところで君に聞きたいことが。」

女： 「何？早くして、私行きたいところがあるんだから・・・。」

男： 「行きたいところ？それって、どこですか？」

女： 「何言ってるの、それを聞いてどうしようって言うの？

他に聞きたいことがあるんでしょ？」

男： 「あ、そっか。なんだっけ、でもやっぱり気になる・・・。

君は、どこから来て、どこへ行くんだい？」

女： 「えーっ。急に哲学的な質問するのね。それがわかんないから探してるよ。」

男： 「あー、そうですか。やっぱり俺と同じだ。何か、出会った時から同じものを感じてた。もしかしてこれが、運命の出会い？」

女： 「一寸、何バカなこと言ってんの？そんなに易々と、運命の出会いなんて言わないで・・・で、でも仮に、仮によ、これが運命の出会いだったとして～、あんたは、どこから来て、どこに行くつもり？」

・・・二人互いに見詰め合ってストップモーション・・・

・・・暗転・・・

下手伝にスポット BGM7

伝：「人はみな、生まれて、やがて死んでいきます。どこから来てどこに行くかも知らないで・・・。この暗闇の時代に、人はどうしたら、本当に生きるものになることができるでしょうか？光の中にいるのにそこから逃げ出そうとするものがあります。いくら手を差し伸べても、光の中に来ようとしらない人も・・・主よ、だから私は、あなたに祈ることしかできないのです。

私は、暗闇の力を憎みます。主よ、私はまずあなたを求め、あなたに従います。又あなたに近づきます。そうすればあなたは私に近づき、私に悪の力に打ち勝つ力と権威を与えてくださいます。そのとき、敵は逃げさるでしょう。主よ。どうかお語りください。あなたの光を照らし続けてください。あなたが語りかけてくださらなければ、新しく生まれなければ、人は決してあなたを知ること、見ることもできないのですから・・・」

・・・・・・・・暗転・・・・・・・・

第3場 の つづき ・・・照明全体明るく・・・・・・・・

男： 「さっきの質問に答えよう。俺は、影の国からやってきた。

そして、これから、この町にある、キリストの教会に向かっている。」

女： 「キリストの教会？それって、私が今出てきたところ。私はそこを飛び出して、これから見知らぬ国へ旅に出ようとしてたの。」

BGM8 光と影登場音、・・・二人の真ん中に割り込んで・・・

光と影：「余計なお世話ですが、私はその見知らぬ国から、ついさっき、この町へやってきたところです。(笑) よろしく！よろしく！」

女：（光と影に）「一寸、どいてよ！だから何？それがどうしたって言うの？
関係ないやつは引っ込んで！」

光と影「関係ないやつって、それはひどいな。私はね、今までずっと、君たちのこ
とを見守ってきた天使のよう存在なんだけど。」

女（笑って）「天使？ わたしは子供の頃、本物の天使を見たことがあるけど、こん
なんじゃなかったわ。変な人。とにかくあっちへ行って！」

光と影「はいはい、わかりましたよ。へえ、こんな気の強い子だったとは、知らな
かったよ・・・とほほ・・・」（去る）

女「 私は今まで、光の中を歩いてきたつもりだった。親に逆らったことなんて一
度もない。子供のころからずっと教会に行ってた。でも私の本当の姿を誰に
も打ち明けたことはない。表向きは良い子、でも、もう一人の私は闇の中に
いたの。」

男： 「それだ、その闇と俺の影が何となく惹かれあうのかも。」

女： 「無理矢理、運命の出会いにしないで！」

男： 「無理矢理じゃないよ。何かを感じるんだ。同じ種類の動物的勘というか。」

女： 「あんたさっき、教会に行くとか言ってたよね。」

男： 「あ一言った。誰かが俺を呼んでるんだ。影を愛するこの俺に、はるか遠く
光のかなたから、呼びかける声が聞こえてくるんだ。」

女： 「声？ それって、お父さんの声？ それとも、お母さんの声？」

男： 「いや違う。この世の人間の声じゃない。はるか遠く、地の果てから、いや、
天から降りてくるような、心に響くその声。」

女： 「その声が、何て？」

男： 「（大声で・・） オフィーリヤ、尼寺へ行け！尼寺へ～～～！」

女： 「はっ？ふざけないでよ！」

男： 「あ、ごめん、ごめん。これはシェークスピアのハムレットのせりふだった。
実は俺、俳優志望だったんだ。へへへ（照れ笑い） ま、それはともかく、
その声はたしか、光の中へ、教会へ行け！・・・と聞こえたんだ。」

ところで君は、その教会から出てきたと言ったよね。」

女：「出て来たって言うか、何か、自分のいる場所じゃないような気がして・・・。」

男：「君のいる場所じゃない？　じゃ、俺の行く場所でも無いのかも。」

女：「関係ないじゃん。私は私。あんたはあんた！

とにかく、その天からの声とやらに従って、行ってみれば？」

男：「君は？君は行かないの？」

女：「私は今出て来たところ！　って言うか・・・、そこにある光がまぶしすぎて、闇の中に隠れたくなったの！」

男：「ふ～ん、俺と反対だ。俺はずっと闇の中、影の中を、ふわふわとただよって生きてきた気がする。だから、光に対する強いあこがれというか、魅力を感じるんだ。」

女：「光に対する、あこがれ？」

男：「君はどこか明るいね。それにきよらかな感じがする。それに引き替え、俺は、くすんで汚れている。」

女：「私が明るくきよらか？それは上辺だけだよ。私の心を見せてあげようか？

(胸を開くしぐさをして) ホラ～、暗いでしょ。みにくいでしょ！・・・

あ～、私、何してるんだろ。今まで、誰にも見せたことがないのに・・・」

男：「いいんだよ。俺には分かる。俺は影だからね。いや、俺の心の暗闇、穢れは、君とは比べられない、誰にも見せられない、誰にもきよめられない汚さなんだ。でも、それを認めることができたのは、君のおかげかもしれない。そ、これはきっと、運命的出会いなんだ。何かが始まる。」

女：「何かって、何が？」

男：「わからない。とにかく、一度行ってみるよ。今まで何度あの声を聞いても、臆病な俺は怖くて耳をふさいでいた。影は光の中には住めないからね。でも、君にあって勇気がわいた。だって、君は、光の中から来たんだから。そして、まだその光が君の後を追いかけてる。」

女：「えっ (自分の後ろを振り返る) 光が私を？・・・。」

男：「きっと逃げられないんだ。誰かが君を捕まえてるから。俺も今までは逃げ出せなかった、この暗闇のまとわりつく影の力から・・・。

でも、あの声が俺を呼んでいる。そして、君の中にある光が、俺に勇気をくれた。ありがとう！ 君とはきっと、また逢える気がする。

じゃあ！アディオス・アミーゴ～！」・・・手をふり、下手に去る・・・

女：「アミーゴ？ あー、行っちゃった。あいつは誰？あれは一体何だったの？ 私はここで何してるの？ どこに行けばいいの？ あー、逃げ出したい。

でも逃げられない。どこに行っても、誰かが私を追いかけてくる。

闇の中に隠れようとしても、すぐに見つかる。だって、闇は光に勝てっこないから。光が来れば闇は消え去る。闇は光に勝てないんだ！・・・えっ！

あっ、そうか～、私は光の中にいたんだ～。光が生み出す影にとらえられ、騙されたこともあったけれど、もう影なんか目じゃない。光を見つめれば影は消え去るんだ～。影なんか、こうして踏みつけてやる！（えい、えいえい！）

BGMが入る。光に包まれる感じ・・・

・・・伝にスポット・・・

伝： イエスはまた彼らに語って言われた。「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。わたしは光として世に来ました。わたしを信じる者が、だれもやみの中にとどまることのないためです。」

・・・女にスポット・・・

女：♪温かい光 なつかしい香り、ここがわたしの 居場所なのね。

わかったわ。もう私は逃げない。逃げ出したりしない。

帰ろう、帰ろう。光の中へ！光のある所へ 帰ろう。

私の居場所。私のいるべき場所へ 帰ろう。

あ、一寸、影のある人待ってよ～。私も一緒に行く～。待ってよ～。」

・・・と言いながら、下手に走り去る・・・

光影 登場

光影：「おやおや、ふたりとも行っちゃいましたねえ。光の中で影を追い求めていた女と、影の中で光を見出した男の運命の出会いの物語は、どうやらハッピーエンドに終わりそうです。私の立てていた計画とは、だいぶ違っちゃったけど、ま、それはいいことにしましょう。彼らが自分で選びとった道ですからね。それでは、私達もあの子の、光の後についていってみましようか！」

・・・暗転・・・ 全体照明

場所は教会 BGM はピアノ

男：「こんにちは～、お邪魔します。入ってもいいですか？」

伝道者「はい、どうぞ、どうぞ。おかえりなさい。お待ちしてました。」

男「えっ、お帰りなさいって、俺のことを待っていてくれたんですか。」

伝「はい、今朝、神様がぼくに語られたんです。今日わたしは一人の大切なわたしの息子を、あなたの所に送るから、待っていなさいって」

男「実は俺も、どこからかわからないけど、一つの声聞いて、思い切って教会に来てみたんだ。俺は今まで闇の中にどっぷりつかって生きてきた。こんな俺でも光の中に住めるんだろうか？」

伝：「勿論です。あなたを光の中に導いた方は、あなたを造られた神様であり、あなたを愛しておられる天の御父さんですから」

男；「お父さん！なんて、いい響きなんだ。俺には今までお父さんと呼べる人はいなかった。これからは天の神様を、お父さんって呼んでいいんですね」

伝：「そうです、私もあなたと同じように暗闇から光の中へ救いだされた神の子供です。」

男；「では俺たちは、今日から兄弟？」

伝：「そうです、よろしく。そして、お帰りなさい」

・・・女が飛び込んでくる・・・

女「あっ、あなたはさっきの・・・」

男；「あ、君は、あの運命の人だ。ありがとう。君の中にある光が、俺をここまで導いてくれたんだ。」

女：「私は光の中にいたのに、その恵みに気づけず、闇の中へ行こうとしていた。でもあなたに会って気づいたの。光はずっと私を追いかけていたんだということを だからありがとう」

伝「光ちゃん、お帰りなさい。さあ、今日は 特別な日だ。私たちの神様を共に賛美しよう。」

伝：歌 やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見た。

死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が照った。

男：歌 この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。

光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝てない。

女：歌 神は光であって、神の内には 暗いところがひとつもない。

これが私たちがキリストから聞いてあなたがたに伝える知らせ。

伝：もし私たちが、神と交わりがあると言っているながら、しかも闇の中を歩んでいるなら、私たちは偽りを言っているのであって、真理を行なってはいけません。しかし、もし神が光の中におられるように、私達も光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちを清めます。

男： 義人の道は、あけぼのの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる。

女： 正しい者の光は輝き、悪者のともしびは消える。

男： 麗しさの窮み、シオンから、神は光を放たれた。

女： 王の顔の光にはいのちがある。彼のいつくしみは、後の雨をもたらす雲のようだ。

伝： 主は、あなたの義を光のように、あなたのさばきを真昼のように輝かされる。

全員： 起きよ。光を放て！あなたの光が来て

主の栄光があなたの上に輝いているからだ！！。

G C Em C
起きよ 光をはなて 主の栄光が輝いてる
Em C
闇が地を包み込み 暗闇が民を覆う
Am D
しかし主の光は輝く

G C
悲しみは終わりを告げ 失望は希望になる
Em C
闇の力は逃げてゆく
G C
喜びに満ち溢れて 高らかに勝利を歌おう
Em C G
栄光の王に賛美ささげる

.....暗転.....

ドラマクラススケジュール表

2023 年度 3 学期（1 月 19 日から 3 月 6 日まで）全 7 回。ホールにて。

毎週 金曜日（最後だけ水曜日）午後 1 時半から 3 時までの 1 時間半

演目 『光と影の物語』

- ① 1 月 19 日 〈金〉 柔軟体操・発音・発声練習。本読み
- ② 1 月 26 日 〈金〉 発音・発声練習。本読み
- ③ 2 月 2 日 〈金〉 ドラマ脚本 本読み。
- ④ 2 月 9 日 〈金〉 ドラマ脚本 半立ち稽古。
- ⑤ 2 月 16 日 〈金〉 立ち稽古
- ⑥ 3 月 1 日 〈金〉 立ち稽古 BGM・照明
- ⑦ 3 月 6 日 〈水〉 総稽古 すべて、本番と同じように

立ち稽古に入る前までに、自分のセリフを暗記しておくこと。

3 月 8 日（金）卒業式・祝会にて上演

担当講師 鍛冶川紀子